



「いじめ」について考える！ Part 2

4月26日(月)の全校朝会で、「いじめ」について話しました。

前号でお伝えしましたが、国や県、市をあげて「いじめ」を防止しようとしているという話と、「いじめ」がなぜ起こるのか、そして、「いじめ」をなくすためにはどうしていけば良いのかということについて、次のように話しました。

なぜ、「いじめ」はなくなるのでしょうか。実は、「いじめ」をなくすことは簡単ではありません。人間は、自分と他人を比べる動物だからです。たとえばテストや運動の成績で「あいつには勝てないけど、こいつによりはりました。」などと考えます。劣等感をもったり優越感をもったりして、自分より下だと思ってバカにしたりします。それはすでに「いじめ」となります。また、人間は、人を好きか嫌いかで区別する動物です。人と「合う合わない」・「好き嫌い」で区別したりします。それが、いじめへと発展します。

しかし、いじめをなくすことができるのも人間です。それは「こころ」があるからです。誰にでも善悪の判断ができたり思いやりをもって接したりすることができます。

しかし、「いじめ」の当事者になるとその「こころ」を見失ってしまいます。私たちは、「いじめ」をしている人に人間らしい「こころ」を取り戻してあげなければなりません。その人に教えてあげたり、教えることができそうにならない場合は誰かに伝えて言ってもらったりしなければなりません。「いじめ」をなくすため、人間らしい「こころ」をみんなで育てる学校にしていきたいですね。

自己マネジメント力の育成

先日の学年保護者会での校長の話の中で、子どもたちに必要な力として「自己マネジメント力」について触れました。学校でも家庭でも、自分の計画をしっかりと実践できる自己管理能力のことです。特に、家庭学習では、この力が必要になってきます。すべての家庭に配付された県教育委員会作成の「家庭学習スタンダード」には、まさしくこの力を育てていくことが大切であるとされています。再度、御覧いただければと思います。

この連休中は、自分で学習の進行管理をしなければなりません。保護者の皆様におかれましては、学習に取り組んでいる姿を御確認いただき、叱咤激励をお願いいたします。もちろん、部活動のない日は、体を休めることも大切です。

バランスの良い生活を自分でマネジメントできているか、見ていただければと思います。



「家庭学習スタンダード」

自校給食の良さ

新しい年度がスタートして1ヶ月が過ぎようとしています。この間、生徒の食生活を支える給食は、充実した内容で提供されてきたと思います。どの献立も栄養のバランスが良く、生徒の成長を考えた内容となっています。調理員さんの愛情も注がれ、様々な工夫をされていることが食べていてよくわかります。先日のポトフは、本格的なものと近い味でした。野菜が大きく切られていて一般のポトフを感じさせるものでした。

本校は、自校給食であり、温かいまま提供していたただけるのも大きな魅力です。また、栄養技師の横田先生、調理員さん方など、給食に関係している皆さんを間近に感じることができることもありがたいことですね。

本校のホームページ(角田教頭先生監修)では、給食の紹介もしています。興味がある方は、HPも御覧ください。



味がしみこんだポトフ(右下)

転入職員の紹介⑥

ウツ アヤカ

続いて、**梅津礼佳**先生です。

プロフィール等については、配付した学校だよりには掲載しております。

転入職員の紹介⑦

続いて、最後は、**水戸幸子(ミト ユキコ)**先生です。

プロフィール等については、配付した学校だよりには掲載しております。